

季刊

はまかせ



国家公務員共済組合連合会
浜の町病院
日本医療機能評価機構・平成16年認定

Hamanomachi Hospital

2017 APL. 第66号



C O N T E N T S

- 専門の立場から
増殖糖尿病網膜症に対する
硝子体手術について 佐々 由季生
- 職場における心の健康づくり
..... 高崎 智子
- 新任医師の紹介
- 登録医から一言
- 外来診療担当医一覧

(写真撮影者 前田 祐也)

理 念

『病める人の身になって、
心のこもった最良の医療を目指します』

基本方針

1. 福岡市の基幹病院として急性期医療を担います。
2. 地域医療支援病院として、地域の医療機関との連携や役割分担による地域完結型医療を目指します。
3. 安全で質の高い医療を追求し、患者さんに満足していただける病院を目指します。
4. 患者さんの尊厳と権利を尊重します。
5. 新しい時代の医療を先取りし、常に研鑽努力します。

Hamanomachi Hospital

〒810-8539 福岡市中央区長浜3丁目3-1 TEL 092・721・0831 FAX 092・714・3262

<http://www.hamanomachi.jp>

増殖糖尿病網膜症に対する硝子体手術について

眼科部長 佐々 由季生



はじめに

「急にみえなくなりました。」と訴えられて受診され、眼底をみると出血で見えない。病歴をうかがうと、「糖尿病っていわれたけれど、眼科には行ったことはありません。最近内科にもいってなくて、...」私が眼科医になった20年前はよくある光景でした。最近は情報化社会のためか、先生方からの啓蒙教育の賜物か、糖尿病になると眼科受診が必要との認識は浸透し、このような状況に出くわす機会も少なくなりました。仮に眼内出血するほど病状が悪化しても、糖尿病網膜症の病態解明がすすみ、抗VEGF薬などの生物学的製剤や手術器具の発達により、失明に至る症例はずいぶん減少しています。

MIVS (Micro Incision Vitreous Surgery:小切開硝子体手術)

進行した増殖糖尿病網膜症に対する治療法としての硝子体手術は1970年代に始まり、その後30年余りは20G（器具の直径0.9mm）サイズが標準的な手術器具であり、それに合わせて眼球壁に切開を加える必要がありました。しかしながら、最近では切除効率を上げるための様々な工夫が行われた結果、器具の直径は23G（直径0.65mm）から25G（直径0.5mm）へと小型化しています。術創が小さいことは術後炎症を抑えられ、手術成績の向上が期待されます。また、増殖膜からの出血を抑える目的で術前に抗VEGF薬を眼内注射することにより、手術時間が短縮できるという報告が多

施設から出されています。当施設でも25Gシステムを用いた硝子体手術を導入しています。

術後の視力経過と血糖コントロール

糖尿病網膜症が多少進行しても、病院に相談すれば治るのであれば、多少受診をさぼっても安心だとの誤解が患者側に生じるかもしれません。確かに20年前と比較して増殖糖尿病網膜症に対する手術成功率は格段に上昇し、以前は一度眼内出血しても1-2か月は出血が吸収するまで待つ方針でしたが、最近是比较的早い時期に眼内に入って病巣を切除するようになり、治療を行うタイミングは格段に早くなっています。しかしながら、大切なことは糖尿病が網膜に引き起こす病態について理解することであり、そのことが前述の誤解を解く鍵になるのではないかと思います。

本来、糖尿病合併症とは高血糖により、血液と最も接触する血管が障害されることが病態の一つであると考えます。微小血管障害によって引き起こされる合併症の一つが糖尿病網膜症です。眼内増殖膜が除去され、牽引性網膜剥離や眼内出血が治癒し、比較的眼底はきれいに見える方でも、視神経乳頭や黄斑の萎縮により視力がでない例は、眼科医であれば遭遇する機会があります。その原因として、黄斑部毛細血管の閉塞や、内頸動脈閉塞に伴い眼循環が阻害される眼虚血症候群などが挙げられます。つまりは、いくら内眼手術が発達しても、血糖コントロールが悪ければ、血管の閉塞性変化が進行し、大切な視力を失う結果となります。

増殖糖尿病網膜症術後 長期視力予後について

以前私が勤務していた病院で行われた硝子体手術後10年経過観察できた73例109眼の視力予後解析から、術後視力は、全体としては術6か月後と比較して10年後では差はありませんでした。¹ (図1) しかしながら詳細に解析を行うと、術後6か月までに0.5以上の視力を獲得できた人の割合は、術10年後でもそれほど変わらないのですが、0.1-0.4と術後視力が出にくい人では、10年の経過のうちで0.1未満となってしまう方が相当数いることがわかります。(図2) その原因を検索すると、脳梗塞の既往や、特に虚血性心疾患との関係が強いという結果が得られました(図3)。術後視力が悪化する方は網膜血流のみならず、他臓器の血流も悪いという結論であり、術後も血糖コントロールを行うことが、長期視力予後へ影響を与える可能性が示唆されます。

まとめ

最近の手術機器や薬剤の発達により増殖糖尿病網膜症は治療可能な疾患へと変化をしています。しかしながら、血糖コントロールを含む全身管理なくしては、術後視力維持もままなりません。内分泌科を中心とした先生方のご協力が欠かせないことは、これまでと変わりません。先生方とこれまで以上に連携をとりながら網膜症治療に当たりたいと思います。ご協力のほどよろしくお願いします。

参考文献

1. 増殖糖尿病網膜症に対する硝子体手術10年後視力予後因子の統計学的検討 佐々 由季生, 秋山 雅人, 吉田 茂生, 佐伯 有祐, 高橋 理恵, 光武 智子, 向野 利寛 臨床眼科 69, 8, 1269-1275, 2015.

図1

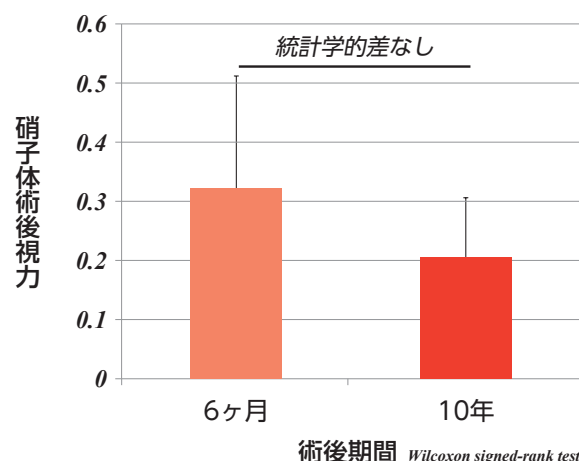


図2

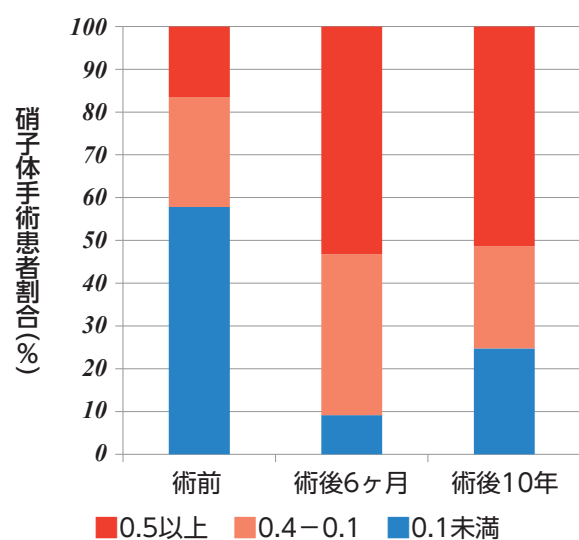
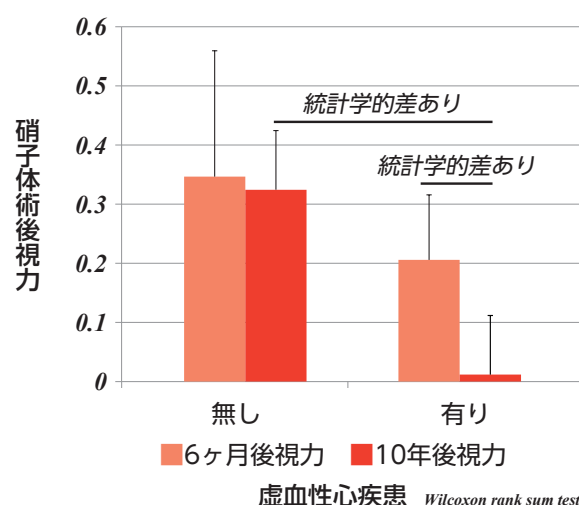


図3



職場における心の健康づくり ～ストレスチェック制度が始まりました～

安全衛生委員会
健康医学センター部長 高崎 智子



はじめに

近年、仕事に関する強い不安、悩みやストレスを感じている労働者が年々増えてきています。自殺者総数が3万人を超えるなかで、労働者の自殺者数も8千人～9千人で推移し、業務が原因で精神障害を発症したことによる労災認定件数も増加傾向にあります。このような状況から、働き方を見直し、より積極的に心の健康の保持増進を図ることが重要な課題となっています。

病院はブラック企業？

ストレスに起因する健康障害は、医療従事者にとっても例外ではありません。医療従事者の5%がうつや不安障害の傾向にあるともいわれています（平成18年 社会経済生産性本部メンタル・ヘルス研究所調査）。

そこには病院という職場の特殊性があります。命を預かるという大きな責任の下、ミスが許されず、仕事の質の高さが求められています。一方、慢性的な人員不足や作成書類の増加などにより業務量は増大し、患者さんや家族からの期待や要求も大きくなっています。過酷な環境は医療従事者の早期離職につながります。

医療現場の労働環境が悪化しているなかで、患者さんの健康を支えるためには、まず医療従事者が心身ともに健康でなければなりません。

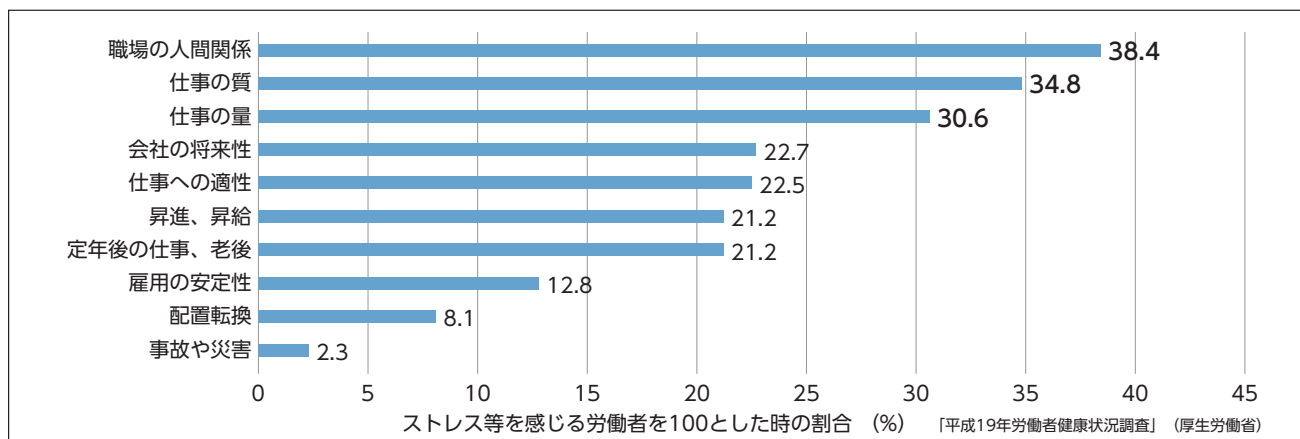
ストレスの原因

～男性では「仕事の質」、
女性では「職場の人間関係」～

最近では、長時間労働が原因として労災認定された例が相次ぎ、社会的な関心を集めています。労働時間は数字で表せるため評価しやすいのかもしれませんが、労働時間の長さだけが問題でしょうか？労働者は何に強いストレスを感じているのでしょうか？

「労働者健康状況調査（厚生労働省）」によると、「職場の人間関係」や「仕事の質」に関する悩みが、「仕事の量」に関する悩みを上回っています（図1）。男女別にみると、男性では「仕事の質」、女性では「職場の人間関係」が重視されています。

また残念なことに、大人の世界にも「いじめ・嫌がらせ」があります。平成27年度の総合労働相談件数（厚生労働省）では、職場での「いじめ・嫌がらせ」に関する相談が6万件を超え、4年連続最多となっています。



ストレスが原因で優秀な人材を失ってしまうとしたら、組織にとっては大きな損失です。いろいろな要因がストレスの原因となっていることを認識し、対策を立てていかなければなりません。

ストレスチェック制度が始まりました

うつ病などの精神疾患の場合、その原因となるストレスを管理することで予防が可能です。そこで、働く人の心の健康を守るため、平成27年12月より、労働者数50人以上の事業所では、心理的な負担の程度を把握するための検査（ストレスチェック）を1年に1回実施することが法律で義務付けられました。

●ストレスチェック制度の目的（図2）

- ・一次予防を主な目的とする（労働者のメンタルヘルス不調を未然に防止する）
- ・労働者自身のストレスへの気づきを促す
- ・ストレスの原因となる職場環境の改善につなげる

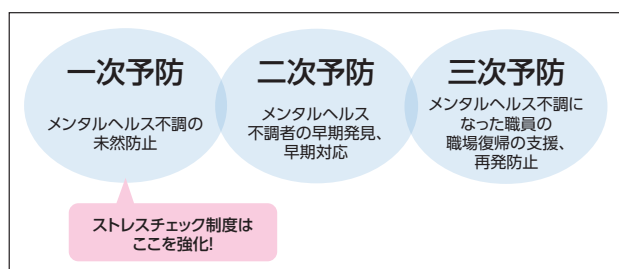


図2：総合的なメンタルヘルスカ（3つの予防）

●検査方法（図3）

「職業性ストレス簡易調査票（57項目の設定から成る）」等を使用し、仕事のストレス要因、心身のストレス反応、周囲からのサポート、満足度について、ストレス度を4段階で自己評価します。

●高いストレスを抱えていると判断されたら（図4）

事業者申し出て、産業医などの面接を受けることができます。この面接の申し出が不利益にならないこと、面接内容が守秘されることなども配慮されています。一方事業者は、医師から意見を聞き、必要に応じて就業上の措置を講ずることが求められます。

仕事のストレス要因 仕事の量についての心理的な負担、仕事の質についての心理的な負担、身体的負担、仕事の自己裁量権、技術の活用、対人関係、職場環境、仕事の適性度、働きがい
ストレス反応 心理的ストレス反応：活気、イライラ感、疲労感、不安感、抑うつ感など 身体的ストレス反応：体の痛み、筋肉のこり、動悸・息切れ、食欲、睡眠など
周囲からのサポート 上司、同僚、配偶者・家族・友人からのサポートについて
満足度 仕事、家庭生活への満足度について

図3：職業性ストレス簡易調査票（全57項目から成る）

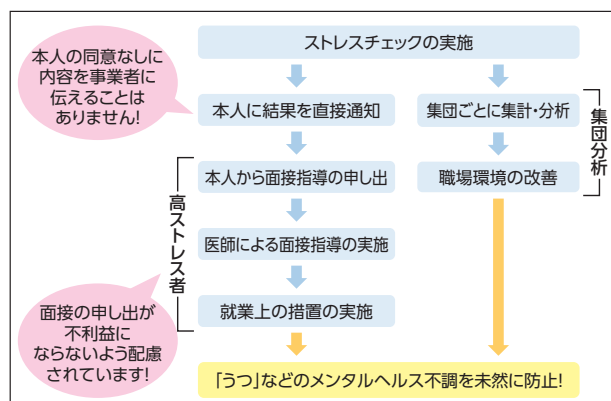


図4：ストレスチェック制度の流れ

上司の役割は重要です

メンタルヘルス対策の中で、上司の役割は重要です。部下に関心を持って接し、「いつもと違う」部下の様子に早く気づいてください。「いつもと違う」部下がいたり、部下から相談されたら、

- ・声をかけたり、話をよく聴いてください
- ・適切な情報を提供してください
- ・必要に応じて産業保健スタッフ等への相談や受診を促してください

日頃から部下が上司に相談しやすい環境や雰囲気を整えることが非常に重要です。

おわりに

ストレスチェックを受けることを一つのきっかけとし、個々のストレス具合について考え、部署の問題点について考えることは、気持ちよく仕事できる環境を職場全体で作っていくことにつながります。医療現場では、そのことが医療事故のリスクを軽減させ、質の高い医療サービスを提供できることにつながっていきます。

新任医師の ご紹介

新年度に伴い、34名の医師が着任いたしました。

地域の先生方と病診・病病連携を図りながら、当院の理念である「病める人の身になって、心のこもった最良の医療を目指します」を念頭に、患者さんに安心と満足の医療を提供してまいります。今後ともご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

採用医師 (平成29. 4. 1 付)

造血幹細胞移植室医長	飯野 忠史 (H7年卒)	外科医師	久野 恭子 (H25年卒)
血液内科医師	栗山 拓郎 (H15年卒)	外科医師	本山由利菜 (H25年卒)
血液内科医師	上野 稔幸 (H26年卒)	外科医師	山本 真大 (H27年卒)
循環器内科医師	小河 清寛 (H17年卒)[5.1付]	整形外科医師	川原 慎也 (H16年卒)
循環器内科医師	高原 勇介 (H19年卒)	整形外科医師	末田 麗真 (H24年卒)
循環器内科医師	木下 聡子 (H26年卒)	整形外科医師	北出 一季 (H27年卒)
消化器内科医師	岩崎 一秀 (H24年卒)	皮膚科医師	康 渚 (H23年卒)
肝臓内科医師	柴田 倫子 (H14年卒)	泌尿器科医師	上田 耕平 (H20年卒)
呼吸器内科医師	麻生 達磨 (H17年卒)	産婦人科医師	大丸 貴子 (H16年卒)
呼吸器内科医師	井手真亜子 (H26年卒)	産婦人科医師	高杉 篤志 (H24年卒)
呼吸器内科医師	内海 太裕 (H27年卒)	産婦人科医師	蔵本 和孝 (H25年卒)
内分泌・糖尿病内科医師	井上 智彰 (H17年卒)	産婦人科医師	後藤 遥 (H26年卒)
膠原病内科医師	横山 佳奈 (H26年卒)	耳鼻咽喉科医師	山本 陵太 (H26年卒)
感染症内科医師	中澤 愛美 (H27年卒)	放射線科医師	亀井僚太郎 (H20年卒)
小児科医師	内田 理彦 (H23年卒)	放射線科医師	平峯 慶子 (H20年卒)
小児科医師	上田 圭希 (H25年卒)	放射線科医師	池 俊浩 (H26年卒)
外科医師	河野 博 (H16年卒)	放射線科医師	下村悠太郎 (H27年卒)

退職医師 (平成29. 3.31付)

地域の先生方には、浜の町病院在職中は大変お世話になり有り難うございました。今後もよろしくお願い申し上げます。

河野 一郎	造血幹細胞移植室医長	井上 健	感染症内科医師	岩井 秀憲	泌尿器科医師
池田 次郎	循環器内科医師	野田麻里絵	小児科医師	藤原ありさ	産婦人科医師
酒見 拓矢	循環器内科医師	園田 有里	小児科医師	神保 友香	産婦人科医師
松本 翔	循環器内科医師	名西真希子	小児科医師	中村友里恵	産婦人科医師
浦岡 尚平	消化器内科医師	安蕪 鉄平	外科医師	友延 恵理	耳鼻咽喉科医師
水田 佑一	呼吸器内科医師	大坪慶志輝	外科医師	鎌野 宏礼	放射線科医師
關 七重	呼吸器科医師	谷口 隆之	外科医師	村山佑里子	放射線科医師
坂本 藍子	呼吸器科医師	新井 貴之	整形外科医師	糸山 昌宏	放射線科医師
裴 成寛	肝臓内科医師	河野紘一郎	整形外科医師	春田 怜子	麻酔科医師
澤田 布美	内分泌・糖尿病内科医師	高橋 宗志	整形外科医師		
福元 遼	膠原病内科医師	膳所菜保子	皮膚科医師		

地域連携だより

登録医から 一言

桜坂中央外科医院

院長 高原 清彦

副院長 住吉 康史

〒810-0024 福岡市中央区桜坂2丁目1-41
Tel,Fax:092-751-5914 (代表)

当医院は昭和45年に開業して今年で47年目になります。最初は有床診療所でしたが現在は入院を止めて無床診療所です。周囲の医療機関は世代交代が加速的に進み、いつの間にか一番の長老になりました。まだまだ体力、気力が充実しておりますので、このまま継続したいと思っています。幸いにも5年前に九大二外科から住吉康史先生を副院長として迎える事が出来、一段と充実した医療を行なえる様になりました。地域密着で貢献して行きたいと思っています。私が開業以来心掛けていた事が幾つかあります。先ず患者さんの立場に立って医療を考える事です。患者さんの話をよく聞き的確に対応する、いわゆる家庭医に徹する事です。患者さんが他の医療施設に入院された時は出来るだけ顔を出し、特に末期の状態の時は頻回に側に寄り添い少しでも精神的な支えになれる様に心掛けております。又、外科を受診すれば痛い

思いをさせられると云う観念を少しでもやわらげる様に細かい所を工夫した治療を目指しております。今でも少しずつでは、ありますが進化させております。外来診察室では毎日毎日が明るく温かい雰囲気の中で患者さんやスタッフと共に心の通った空間を共有しながら診療を行う事が、私にとって生き甲斐であり私の人生そのものです。浜の町病院とは九大の同級生である安井久喬前院長が就任された時より本格的な病診連携をして頂く様になり、全ての科の先生方、スタッフの皆様に変にお世話になっております。いつも丁寧で質の高い診療を素早く対応して頂くので患者さんを安心して紹介出来、又、患者さんからも喜ばれております。浜の町病院の先生方、スタッフの皆様には心から感謝しております。今後共、どうぞ宜しくお願い致します。



院長 高原 清彦



副院長 住吉 康史



■ 救急患者紹介連絡先

月～金（8:30～17:15）

Tel 092-721-9913(連携課直通) / Fax 0120-721-991(連携課直通)

上記以外の時間及び土日祝

Tel 092-721-0831(病院代表)

(平成29年4月1日現在)

診療科	時間	専門	月	火	水	木	金	
内科 (腫瘍内科の新患は月～金の午後)	午前	総合診療	内田勇二郎	中澤愛美	当番医	内田勇二郎	当番医	
		血液新患	衛藤徹也	吉田周郎	衛藤徹也	平安山英穂	栗山拓郎	
		血液再来	吉田周郎	衛藤・栗山	平安山英穂	衛藤・松尾弥生	平安山英穂	
		循環器新患	臼井真	高原勇介	臼井真	船越祐子	塩見哲也	
		循環器再来	塩見哲也	船越祐子	高原勇介	臼井真	臼井真	
		消化器	尾石義謙	瀬尾充	瀬尾充	岩崎一秀	尾石義謙	
		腫瘍	田中吏佐	田中吏佐	田中吏佐	田中吏佐	三ツ木健二	
		肝臓	柴田倫子	高橋和弘	具嶋敏文	高橋和弘	高橋和弘	
		呼吸器	前山隆茂	鶴田伸子	鶴田伸子	鶴田伸子	鶴田伸子	
			麻生達磨	前山隆茂	麻生達磨	前山隆茂	前山隆茂	
		糖尿病内分泌	井上智彰	平松真祐	平松真祐	井上智彰	平松・井上	
		腎臓	原祥子	吉田鉄彦	出口孝史	出口孝史	吉田鉄彦	
膠原	吉澤(予約再来のみ)	横山(予約再来のみ)	吉澤誠司	吉澤誠司	吉澤(予約再来のみ)			
感染	内田勇二郎	内田勇二郎	内田勇二郎	内田勇二郎	内田勇二郎			
脳神経センター 脳外科(月・水・金)の午後、 神経内科の午後は 紹介患者と予約のみ	午前	脳外科	松角宏一郎	手術 新患紹介のみ (手術日のため、受付 できない場合もあり)	松角宏一郎	手術 新患紹介のみ (手術日のため、受付 できない場合もあり)	松角宏一郎	
			上坂十四夫	上坂十四夫	上坂十四夫			
		—	—	—	—	—		
	午後	神経内科	松山友美	佐竹・松山	佐竹真理恵	佐竹・松山	佐竹(新患のみ)	
		脳外科	松角宏一郎	手術 新患紹介のみ (手術日のため、受付 できない場合もあり)	前原直喜	手術 新患紹介のみ (手術日のため、受付 できない場合もあり)	松角宏一郎	
			前原直喜	—	—	前原直喜	—	
外科 ※木曜日の午後は Dr大城戸への乳腺紹介のみ	午前	消化器・一般	許斐裕之	一宮 仁	前山 良	許斐裕之	植木 隆	
			本山由利菜	植木 隆	河野 博	前山 良	池永直樹	
		呼吸器	—	河野 博	—	池永直樹	—	
	午後	乳腺・甲状腺	大城戸・本山	大城戸・河野	河野 博	池永直樹	池永直樹	
		乳腺・甲状腺	—	—	—	大城戸政行	—	
産婦人科 新患は紹介のみ ※受付時間 月・水・金 8:30～11:00 火・木 8:30～10:30 産科初診のみ婦人科で受付	午前	婦人科	産科	後藤 遥	大丸貴子	蔵本和孝	大丸貴子	高杉篤志
				上岡陽亮	大石博子	上岡陽亮	竹内麗子	上岡陽亮
				大石博子	前原都	竹内麗子	高杉篤志	大石博子
				竹内麗子	蔵本和孝	前原都	後藤 遥	大丸貴子
				大丸貴子	—	高杉篤志	—	前原都
				—	—	—	—	—
整形外科 新患は紹介のみ 月・水・金は 受付 8:30～10:30	午前	整形外科	手術 紹介新患のみ (当番医)	馬渡太郎	手術 紹介新患のみ (当番医)	松井元	馬渡太郎	
				松井元		井口貴裕	井口貴裕	
形成外科	午前	形成外科	手術	川原慎也	手術	光安浩章	川原慎也	
				末田麗真		末田麗真	—	
泌尿器科 午後は予約と紹介のみ	午前	泌尿器科	手術	北出一季	手術	—	—	
				—		—	—	
泌尿器科 午後は予約と紹介のみ	午後	泌尿器科	手術	松本大輔	手術	松本大輔	松本大輔	
				江藤ひとみ		江藤ひとみ	江藤ひとみ	
小児科 午後は予約のみ 内分泌 第3水曜日/ 循環器 第4木曜日のみ (予約)	午前	小児科	手術	小藤秀嗣	手術	小藤秀嗣	小藤秀嗣	
				山崎武成		山崎武成	山崎武成	
小児科 午後は予約のみ 内分泌 第3水曜日/ 循環器 第4木曜日のみ (予約)	午後	小児科	手術	上田・山崎(予約)	手術	上田・山崎(予約)	上田・山崎(予約)	
				手術		手術	手術	
耳鼻咽喉科	午前	耳鼻科	手術	上田圭希	手術	上田圭希	上田圭希	
				兒玉志保		兒玉志保	兒玉志保	
耳鼻咽喉科	午後	耳鼻科	手術	予防接種	手術	循環器(第4)	健診・予防接種	
				—		—	—	
耳鼻咽喉科	午前	耳鼻科	手術	野田哲平	手術	玉江昭裕	野田哲平	
				西山和郎		西山和郎	西山和郎	
						西山和郎	西山和郎	西山和郎
						山本陵太	山本陵太	山本陵太
眼科	午前	眼科	手術	佐々由季生	手術	佐々由季生	佐々由季生	
				応援医		(当番医)	(当番医)	西村太吾
皮膚科 (新患は紹介のみ)	午前	皮膚科	手術	竹内 聡	手術	竹内 聡	竹内 聡	
				池田真希		池田真希	池田真希	
放射線科	午前	放射線科	手術	康 渚	手術	康 渚	池田真希	
				松浦隆志		松浦隆志	松浦隆志	
				角南俊也		角南俊也	角南俊也	
		放射線治療外来	手術	亀井僚太郎	手術	亀井僚太郎	亀井僚太郎	
				舩本博史		舩本博史	舩本博史	
				平峯慶子		平峯慶子	平峯慶子	
精神科※原則として当院に入院中の患者のみ	午後	精神科	—	—	九大	—	九大	
緩和ケア外来 ※原則として当院で診療を 行っている患者のみ 11:00～12:00 (完全予約制)	午後	緩和ケア外来	永山 淳	永山 淳	—	永山 淳	永山 淳	
健康医学センター(要予約)	午前	外来ドック	高崎智子	高崎智子	高崎智子	高崎智子	高崎智子	
			久野千津子	久野千津子	久野千津子	久野千津子	久野千津子	

受付時間：午前8:30～11:00

発行責任者／浜の町病院広報誌編集委員会
委員長 吉澤 誠司